

# トマトの苗から自然と関わり命あるものを大切に する気持ちを育む

作成者 進藤 早苗 作成日 5月16日(木)  
保育のねらい いのちを感じたり、大切にする心を育てる



## 保育の振り返り

トマトの苗を頂き、苗植えの日まで保育者が水やりをしていましたが、暑さが続きすっかり元気がなくなってしまったトマトの苗。「どうしよう・・・」急いで水をあげたものの、心配でたまりません。ですが良い機会と思い、次の日の保育で子ども達とどうしたらいいのかを一緒に考えました。「元気がないのはどうして?」「水をあげたらいいよ」「お日様の光が必要だよ。」子どもたちから様々な意見がでてきました。そして幼稚園にある図鑑を沢山見つけ、トマトが元気になる良い方法や、トマトの育ち方を研究し、自由画に大きく成長する事を願い絵を描きました。(自然との関わり、生命尊重、思考力の芽生え、言葉による伝え合い、協同性、自立心)  
保育者や子ども達と一緒に、今自分たちにできることを考え動きだす姿は、逞しく、保育者自身も元気をもらった一日でした。

園長先生からのキーワードで、今回の保育が生まれました。保育者が答えを出すのは簡単ですが、子どもたちと一緒に考え、子どもたちならどうする?と一度立ち止まれたことが、よりよい保育に繋げていけるいい機会と感じられた一日でした。